

標準現像剤 ～トナー帯電量測定用標準現像剤の試験頒布開始～

●はじめに

日本画像学会では、各種のトナー帯電量測定装置*1 間の値のずれを±20%以下に押さえることが可能となる、「トナー帯電量測定法標準*2」を 1998 年 12 月 1 日に制定しました。これにより、トナー帯電量が、測定装置及び測定者に依存して変わる相対的な値から、トナーそのものが持つ、固有値的・絶対値的な値として取り扱うことが可能となりました。しかしながら、トナー帯電量測定装置の校正の際には、「トナー帯電量測定法標準」で保証された標準帯電電荷量を持つ標準現像剤が必要である為、関係者の方々から標準現像剤の販売に対する強い要望の声がありました。今回、日本画像学会では、学会維持会員の方々の御協力により、「トナー帯電量測定法標準」検討時に用いた共通現像剤をトナー帯電量測定用標準現像剤として試験頒布することが可能となりましたので、お知らせいたします。

*1: ブローオフ法を用いた電子写真の二成分現像剤用トナーの帯電量測定装置

*2: 日本画像学会誌 125 号、Vol.37、461-470

●標準現像剤の種類、及び、標準現像剤セットの内容

今回試験販売致します標準現像剤は、プラス帯電、及び、マイナス帯電の値を持つ各トナーを、各々所定のキャリアと混合した現像剤の状態、各 1 種類ずつ標準現像剤セットという形で提供いたします。

各標準現像剤セットは、

- プラスもしくはマイナストナーを含んだ標準現像剤 200 g、及び、混合容器 10 個
- トナー帯電量測定法標準の説明書
- 標準現像剤特性説明書（標準帯電電荷量、MSDS 等）

からなり、「トナー帯電量測定法標準」に基づいた測定が約 10 回分行えます。

●標準現像剤の標準帯電電荷量

今回、試験販売いたします、標準現像剤の仕様、および、「トナー帯電量測定法標準」に基づいて測定した標準帯電電荷量*3を、以下の表に示します。

*3: ロットによって変わる場合があります

品名	トナー帯電極性	トナー標準帯電電荷量*3	トナー濃度	Net.
N20-01	マイナス	-18.2 ± 2.4 μC/g	5.0 ± 0.2 wt%	200g
P20-01	プラス	+19.8 ± 2.5 μC/g	5.0 ± 0.2 wt%	200g

●購入方法

今回は、試験販売の為、プラス帯電、及び、マイナス帯電の標準現像剤セットを、各 50 セットのみ販売いたします。（1 セット価格 2 万円）

購入申し込みは、日本画像学会事務局にてお受けいたしますので、下欄に申込者名、連絡先、購入希望の各標準現像剤の個数、金額を記入し、合計金額と一緒に日本画像学会事務局宛にお送り下さい。

<標準現像剤購入申し込み書>

(申込者名) _____ (会社名・所属部署)

(住所) _____

(電話番号) _____

日本画像学会事務局
〒164-8678
東京都中野区本町2-9-5 東京工芸大
学内
TEL 03-3373-9576
FAX 03-3372-4414

標準現像剤品名	希望個数	金額
N 2 0 - 0 1	個	円
P 2 0 - 0 1	個	円
合計	個	円